

「確かな学力の育成」のための

# 授業改善の視点と具体的手立て 2

国語科 算数・数学科 社会科 理科 英語科

児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせるためには、1時間1時間の授業レベルでの具体的な指導法の改善を図り、日々の授業を充実させることが重要です。

そこで、南部教育事務所として、昨年12月に児童生徒一人一人の学習意欲を高め、基礎的・基本的な知識・技能の習得及び、思考力・判断力・表現力等の育成を目指した「授業改善の視点と具体的手立て」の《第1集》を作成いたしました。（第1集＝中学校国語科及び数学科）

本資料は、その《第2集》として、中学校の社会科、理科、英語科及び、小学校の国語科、算数科での1時間の授業展開を、《第1集》同様指導案例を基に分かりやすく示したものです。題材は小学校、中学校となりますが、1時間の授業改善の視点、具体的手立てという観点から、小学校・中学校共に参考にさせていただけるものとなっております。

1時間の中での授業改善のポイントとして、次の3点を特に先生方に意識していただきたいと考えます。

- ① 見通しと振り返りのある授業…“めあて”の提示・板書の工夫等
- ② 問題解決的な学習を取り入れた授業…学習課題の工夫等
- ③ 言語活動の工夫が図られた授業…思考の場、交流の場等の設定等  
《言語活動の充実を通して1時間のねらいに迫る・深める》  
→教科の力を高める言語活動

各教科の指導案例の中に、この3点を含めた授業改善のポイントや留意点を吹き出しによって示してあります。

各校の児童生徒の実態に合わせながら、「確かな学力の育成」を目指した日々の授業改善に、《第1集》と併せて本資料を御活用ください。

平成22年7月

埼玉県教育局南部教育事務所